名古屋大学博物館報告
Bull. Nagoya Univ. Museum
No. 24, 1–19, 2008

奈良坂源一郎関係史料目録（三）
—写真・短冊—

Catalogue of NARASAKA Gen'ichiro's Collection, with explanatory notes Part 3: Photographs and narrow paper tablets

島岡　眞（SHIMAOKA Makoto）

〒 467-0873 名古屋市瑞穂区竹田町 2-6-N603

Abstract

This report is the 3rd part of the catalogue of Narasaka's collection to give the lists of photographs and "tanzaku", i. e., narrow paper tablets for writing poems and pictures on. The photo collection includes many portraits of himself taken in from early Meiji (ca. 1877) to early Showa era, photos of teachers of the Tokyo Medical School when he was a student therein, and his colleagues of the Aichi Medical School in its early period, as well as his private photos of his family or his hometown etc. The "tanzaku" collection gives us some good hints to understand the Owari culture at that time, because the collection includes many tablets of Japanese or Chinese poems and Sumi-e (chinese-ink) pictures given by cultured persons in Owari district with whom Narasaka developed a friendship.

はじめに

今回は先報にひきつづき、奈良坂源一郎関係史料中の写真（NUM-Ln06）と短冊（NUM-Ln08）の目録をその簡単な紹介とともに示す．写真は奈良坂の明治 10 年頃から最晩年の昭和初期までの肖像，東京医学校・愛知医学校の初期教員の姿や家族・郷里の風物等が記録されている．短冊では彼が交流した地元文化人の和歌，漢詩，水墨で当時の尾張文化の一端を窺うことができる．

1，写真（表〈06・写真〉）

このリストは源一郎が残した写真 180 枚余を肖像や集合写真等の内容と撮影年月で再構成したものである．もともとはアルバム帳で整理されていたもの，そのアルバムから剥離したもの，未整理状態であったもの等であるが，写真の保存のため全てをそのサイズで整理し，一連番号化したものを内容により再区分したものである．

源一郎は早い時期から写真への強い関心を持っていたようである．その一端は筆者が先報で紹介した伊勢志摩旅行記で写真を撮影したことの記録（島岡，2007）や，日露戦争従軍医送別の記念撮影担当をしたこと（愛知医学専門学校，1904）によっても窺うことができる．ただし，彼が撮影した伊勢志摩の写真は残っていない．また，残された写真には撮影年月日や場所が付記されているものは多くはない．ここでは注目すべき数点を紹介することにする．

（1）若き日の源一郎肖像（図 1 ・枝番号 001）

撮影年月は不明であるが，長女玉子とともに写した枝番号 008 と比較すると同時期のものと思われ，卒業前後の明治 14 年・28 歳前後と想定される．いかにも近代医学教育を受け，羽ばたいて行こうと

する明治前期青年の風貌といえそうである．

（２）解剖学教師・デーニッツ肖像（枝番号 002）

この写真はリスト注記にあるように裏書のある数少ない写真の１つである．Döenitz は東京医学校に最初の解剖学教師として，明治 6 年から 9 年まで在職し，我が国解剖学の基礎を築いた人物といえる．奈良坂はこの 6，7 年に彼の解剖学講義を受けたはずであり，その後の解剖学教育者としての進路を決める一つのきっかけになったことであろう．

これまでに披見した彼の写真のなかでは鮮明なものであるので，ここに取り上げることにした．

（３）外科学教師シュルチェ送別記念写真（図２・枝番号 029）

東京医学校のお雇い教師 Schultze はミューラーの後任として，明治 7 年から東京大学医学部となっている明治 14 年まで在職し，日本の外科学教育に多大な役割を果たした人物である．

これと同一の写真は福田雅子の『桔梗―三宅秀とその周辺―』に見え，その説明に送別の記念撮影であることが記されている（福田雅子，1985）．彼の退職は明治 14 年であるが，明治 11 年に一端帰国し翌年再来日という経緯がある．この写真中の奈良坂は卒業以前の写真（枝番号 007）に近く、教師の着座位置からも考えて、この写真は明治 11 年時のものでないかと思われる．先の『桔梗』では中央シュルチェの左に医学部綜理・池田謙斎，右が外科教授・桐原真節という説明があるのみだが，当時の医学部関係者を後年の写真から推定してみると以下のようである．桐原の隣が綜理心得の長与専斎，シュルチェの後が三宅秀（14 年医学部長），池田の後が石黒忠悳（12 年綜理心得），その左後に橋本綱常（医学部教授），その右後に緒方維準（医学部嘱託），三宅の右後に足立寛（医学部教授）という明治の医学界をリードする錚々たるメンバーを伺うことができる．

ところで，奈良坂源一郎は最後列右端の小柄な人物で当時 4 年次生，同じく左端は森林太郎で 3 年次生ではないかと思われる．

（４）若き愛知医学校教師たち（図３・枝番号 030）

これも撮影の年月，人物名は記されていないが，前列中央が医学校長の熊谷幸之輔（医学士･外科），右端が奈良坂（医学士･解剖），中列では右端に瀧浪図南（１等助教授），その隣が小倉開治（医学士･眼科），後列左端に川原汎（医学士・内科），以上はこれまでの写真から判明する面々である．この写真には、別の写真（枝番号 128）から判別される花房道純が含まれていない．彼の医学校赴任は明治 19 年 9 月であるからこの写真はそれ以前と考えられる．また、先に特定した人物中で最も遅く赴任したのが川原で明治 16 年であるから，この写真が撮影されたのは明治 16 年から 19 年の間としてよいだろう．この期間に在籍した医学校教員に当てはめて以下のような推定をしてみる．中列小倉の左隣は後年の写真から藤本理（製薬士･化学他，後名古屋薬学校長），その左が三村徳太郎（製薬士･化学他，19 年 7 月結核により病没）と思われる．この写真が彼の病気をおして勤務中の 19 年正月とすると，他に黒川武一郎（婦人科），玉井徴（器械学他），城貞哉（動物学他），高畑勇次郎（解剖助手），近藤信次郎（理学助手），志水重視（試験委員でもある書記・躁錬担当）がいる．後列中央の人物は服装から志水と思われるが、それ以外は想定できていない．関係者のご教示を頂きたいと思っている．

２，短冊（表〈08・短冊〉）

この短冊 200 余枚は最近奈良坂宏氏から寄贈を受けたものであり，資料番号 08 として急遽整理した．一部印刷物も含まれているが，多くは明治から大正にかけて奈良坂が交流していた当時の地元文化人たちの自筆である．

特製の短冊用木箱二つに納められていたものを和歌，俳句，漢詩，水墨画に分け一連番号でリスト



図 1． 若き日の奈良坂源一郎肖像



図 3． シュルチェ送別記念写真



図 2． 解剖学者・デーニッツ肖像



図 4． 若き愛知医学校教師たち

化した．俳句は 3 点のみのため省略し，その他の概略を記す．

（1）和歌

変体仮名はそのまま表記した．短冊では最も多い 120 点あり，それを源一郎の父･秀直の作，本人作，奈良坂への献呈歌，四季の歌，山水等の歌，皇室関係の歌，時勢の歌の順に区分した．

父・秀直の歌は維新時の戊辰役で仙台藩の旗奉行として戦い負傷した，彼のその後の後半生を感慨深く歌っている．また、印刷物であるが名古屋出身の御歌所主事であり能筆家でもあった阪正臣筆の明治天皇製歌が多数集められている．当時の歌人としては掛布弓月，恒川平一の名も見える（春日井濶，1972）．図 5 では秀武名の源一郎自作（枝番号 012 ）を示す．

（2）漢詩

和歌に次いで多い 35 点である．リストでは最初の 5 あるいは 7 文字だけを表記した．作者のなか

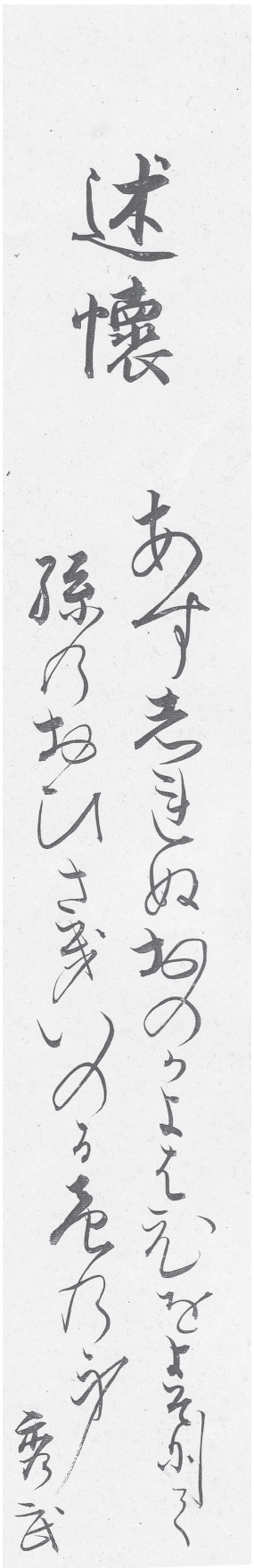


図5. 奈良坂源一郎（秀武）の和歌短冊（原寸 36 × 5.8 cm）

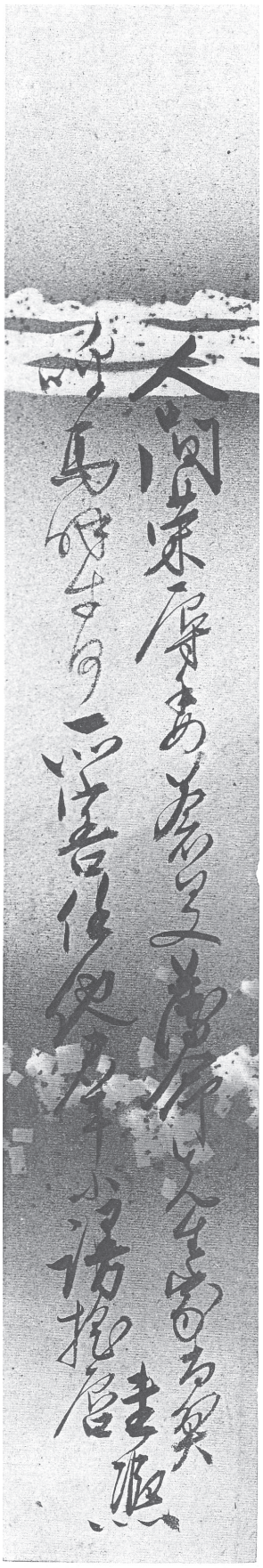


図6. 一色重熙の漢詩短冊（原寸 35 × 5.6 cm）



図7. 奈良坂源一郎（松洲）の水墨画短冊（原寸 36 × 7.5 cm）

には「続日本紀」の著者であり，奈良坂による「雀巣庵虫譜」写本の漢文序を記した尾張の儒者・一色重熙（図 6 ）や好生館病院の佐藤勤也の名が見える．明治期の尾張漢詩界は一時日本の詩壇を支配した（川島丈内、1933）といわれるほど活発であったとすれば，奈良坂の交友の広さからもこの短冊コレクション中にそれが秘められているのかもしれない．

（3）水墨画

奈良坂は幼少から狩野派の薫陶をうけ，自身見事な博物図等を残すほど絵画への造詣は深かった．ここに残された水墨短冊は当時の彼の画人との交流を表している．『愛知画家名鑑』に出てくる加藤清隠，松山秋峰等多くの画人の名が見いだせる（服部徳次郎、1997）．図 7 では奈良坂自筆・松洲号の枝番号 159 を示す．

謝　辞

和歌や漢詩について知識の乏しい筆者にとって手に余る作業であったが，名古屋大学文学研究科の塩村耕先生，圭介文書研究会の岩崎鐵志先生のご協力によって，なんとか目録の形にすることができました．こころよりお礼を申し上げます．両先生の意を十分に活かし得ない結果ではありますが，ご容赦をお願いする次第です．

引用文献

愛知医学専門学校編（1904），同窓会雑誌，13
春日井濶（1972）序史，中部短歌会五十年史，中部短歌会
服部徳次郎編著（1997）愛知画家名鑑，愛知画家顕彰会
福田雅子編（1985）桔梗―三宅秀とその周辺―，福田雅子
川島丈内（1933）名古屋文学史，松本書店，第 10 章
島岡眞（2007）奈良坂源一郎関係史料目録（ 2 ），名古屋大学博物館研究報告，23

（2008 年 11 月 26 日受付）

〈06・写真〉

枝番号	分　類	内　　容	撮影年月	サイズ（mm）	表題、制作等	注記「　」は奈良坂記
001	肖像	源一郎肖像	明治 10 年頃	102 × 74	浅草・奥山江崎製	
015	肖像	源一郎肖像、45 歳（複製）	明治 32 年	142 × 100		「45 歳ノ小肖」
120	肖像	源一郎肖像、和歌	明治 39 年	120 × 180,B5	印刷物	在職 25 年記念同窓会雑誌
016	肖像	源一郎肖像、56 歳（複製）	明治 43 年	135 × 105		「56 歳ノ小肖」
003	肖像	源一郎肖像、60 歳（複製）	大正 3 年	85 × 55		「60 歳ノ小肖」
004	肖像	源一郎肖像、64 歳（複製）	大正 6	98 × 70		背景に人体図、教室にてカ
005	肖像	源一郎肖像、65 歳（複製）	大正 7 年 12 月	85 × 55		「65 歳之影」
006	肖像	源一郎肖像、70 歳（複製）	大正 12 年	132 × 93		松洲翁古稀寿象
018	肖像	源一郎研究室肖像（複製）	大正年代	145 × 110		プレパラート作成、背景に頭骸骨
007	家族	叔父一家と（複製）	明治 10 年以前	90 × 63		「叔父五郎太、宗平、源一郎、金平」
008	家族	家族写真（複製）	明治 14 年	90 × 63		源一郎、父カ、たま子カ、葱子カ
009	家族	源一郎、たま子（複製）	明治 20 年頃	84 × 55		「たま 5 才」
026	家族	夫婦記念写真（複製）	大正 7 年 12 月	135 × 95		
027	家族	養子・源二夫妻と（複製）	大正 7 年 12 月	135 × 95		
010	家族	家族写真（複製）	大正 10 年頃カ	92 × 133		
011	家族	源一郎､子守スナップ（複製）	昭和初期	50 × 78		
028	家族	家族写真、不詳	年代未詳	107 × 152		
002	肖像	デーニッツ肖像	明治 9 年カ	100 × 60		「独逸国解剖科、東京医学校解剖局教師プロヘスソルデヲニッツ」
013	肖像	鈴木孝之助肖像	明治 10 年代	150 × 100		
014	肖像	田口和美肖像画写真	明治 27 年	165 × 105	「田口博士肖像」の見出し	
143	肖像	明治 38 年后学期卒業生徒写真帖	明治 38 年	128 × 170、折帳		
144	肖像	熊谷幸之輔	明治 38 年	70 × 50、楕円	枝番号 143 の内	校長、外科学
145	肖像	奈良坂源一郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	教務部長、組織学
146	肖像	小川三之助	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	外科学
147	肖像	賀古桃次	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	眼科学
148	肖像	長松将之輔カ	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	内科学、精神病学
149	肖像	高橋伝吾	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	内科学、病理学
150	肖像	小野瓢郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	化学
151	肖像	小出寛一郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	物理学
152	肖像	石森国臣	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	生理学、医化学
153	肖像	鈴木喜代之助	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	法医学
154	肖像	久保　武	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	解剖学
155	肖像	岡田鶴也	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	細菌学
156	肖像	葛谷貞二	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	薬物学

枝番号	分　類	内　　容	撮影年月	サイズ（mm）	表題、制作等	注記「　」は奈良坂記
157	肖像	鈴村錠吉	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	調剤学
158	肖像	三尾太伝次	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	産婆学
159	肖像	岩田誠久	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
160	肖像	糸山　直	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
161	肖像	原　逸美	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
162	肖像	星野到知	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
163	肖像	星野光太郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
164	肖像	友田百太郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
165	肖像	大沢　要	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
166	肖像	渡邊　坦	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
167	肖像	谷口益太郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
168	肖像	高橋　保	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
169	肖像	津村季秋	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
170	肖像	永田清三郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
171	肖像	村上卓三	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
172	肖像	上田史郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
173	肖像	黒田文雄	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
174	肖像	山田勝助	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
175	肖像	前島長滋	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
176	肖像	松浦敏也	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
177	肖像	松村一三	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
178	肖像	藤田　寛	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
179	肖像	遠藤晋作	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
180	肖像	藍田義次郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
181	肖像	安達安三郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
182	肖像	南吉次郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
183	肖像	清水秋太郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
184	肖像	次郎丸真次	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
185	肖像	森田八十郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
186	肖像	杉浦善吉	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
187	肖像	須網絨太郎	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
188	肖像	杉山新吉	明治 38 年	70 × 50、楕円	同上	
121	肖像	熊谷幸之輔肖像	明治末カ	155 × 105、楕円	B5、印刷物	〈故従四位勲四等熊谷幸之輔記念、大正 2 年 5 月 2 日（享年 67 歳）、熊谷強助〉の折紙付き
017	肖像	大隈重信夫妻	大正初期	107 × 152		POST CARD、“AZO”の切手位置
122	肖像	熊谷幸之輔銅像写真	大正 7 年	205 × 150	印刷物、校庭・校舎背景	付『熊谷先生銅像建設報告』あり
123	肖像	熊谷幸之輔肖像	大正年代	270 × 200		
124	肖像	山崎正薫肖像	大正年代	155 × 105、楕円	印刷物	

枝番号	分　類	内　　容	撮影年月	サイズ（mm）	表題、制作等	注記「　」は奈良坂記
125	肖像	高橋豊三郎	昭和 6 年 1 月 1 日	300 × 195（台紙）	京都・室町写場製	表に〈贈呈〉、裏に年月日、署名
019	肖像	東京大学ベルツ、スクリバ胸像	年代未詳	150 × 108		
020	肖像	東京大学ベルツ、スクリバ胸像	年代未詳	108 × 150		
021	肖像	源一郎弟・源太夫肖像カ	年代未詳	150 × 1 06		
022	肖像	奈良坂秀直カ・鎧姿（正面）	年代未詳	152 × 107		奈良坂源三郎
023	肖像	奈良坂秀直カ･鎧姿（右側面）	年代未詳	152 × 107		奈良坂源三郎
024	肖像	奈良坂秀直カ・鎧姿（背面）	年代未詳	152 × 107		奈良坂源三郎
025	肖像	奈良坂秀直カ･鎧姿（兜抜き）	年代未詳	152 × 107		奈良坂源三郎
029	集合	シェルチェ送別記念写真	明治 10 年頃	120 × 165		
126	集合	校長後藤新平氏送別紀年撮影（職員学生一同）	明治 16 年	160 × 238	於西本願寺別院、印刷物	教師名の説明紙付き
127	集合	校長後藤新平氏送別紀年撮影（職員学生一同）	明治 16 年	160 × 238	於西本願寺別院、印刷物	教師名の説明紙付き
030	集合	愛知医学校職員写真	明治 20 年頃	110 × 165	鴻野製、	
031	集合	愛知医学校職員写真	明治 20 年代カ	150 × 107		
032	集合	圭介翁 90 賀寿記念写真	明治 25 年	113 × 165		
128	集合	愛知医学校卒業写真	明治 25 年	207 × 270	裏に写真生徒名（別紙）	教師；鎌田、川原、小倉、熊谷、奈良坂、花房、高橋カ、瀧浪、後列･佐々木カ、高田、不明
129	集合	愛知医学校卒業写真	明治 33 年	207 × 270	裏に写真生徒名（別紙）	教師；小島、高橋、賀古、小川、熊谷、奈良坂、多田、瀧浪、高田、不明
033	集合	日露出征軍医集合写真カ	明治 37 年カ	108 × 150		
034	集合	日露出征軍医集合写真カ	明治 37 年カ	108 × 150		
134	集合	記念写真	明治 30 年代	150 × 205	教師 6、学生 8	教師；清水カ、石森、奈良坂、熊谷、小川、岡田
130	集合	医学専門学校第 8 期卒業写真	明治 40 年 5 月	273 × 415	愛知県立医学専門学校第八期生決別紀年	裏に写真名簿
037	集合	コッホ博士来名歓迎会記念	明治 41 年	107 × 148		
131	集合	コッホ博士来名歓迎会記念	明治 41 年	207 × 270		
035	集合	丹羽家	明治 40 年代カ	110 × 152		枝番号 123 と同
036	集合	丹羽家	明治 40 年代カ	105 × 150		枝番号 123 と同
132	集合	丹羽家	明治 40 年代カ	210 × 270		熊谷も
133	集合	病院玄関口にて	明治末頃	200 × 138		
135	集合	民国留学生との花甲祝賀会	大正 3 年 12 月 29 日	238 × 305（台紙）	於・偕楽亭	全員の名前表示
136	集合	民国留学生との花甲祝賀会	大正 3 年 12 月 29 日	178 × 190	枝番号 118 の本体のみ	
038	集合	古希祝賀宴カ	大正 3 年カ	127 × 195		
039	集合	古希祝賀会（留学生と）カ	大正 3 年カ	152 × 108		

枝番号	分　類	内　　容	撮影年月	サイズ（mm）	表題、制作等	注記「　」は奈良坂記
041	集合	笠原四郎治結婚記念	大正 4 年 2 月 1 日	123 × 162（台紙）	於・神宮前	
040	集合	米寿祝賀宴カ	大正 13 年カ	90 × 140	裏に Post Card, NIHON Shasin	
042	集合	□家一族と	大正年代	106 × 150		
043	集合	森田資孝カほか	大正年代	110 × 147		
137	集合	愛知医学専門学校卒業写真カ	大正年代	140 × 213	教師 6 、生徒 33	教師；不明、熊谷、奈良坂、黒田カ、列外・石森、藤井
138	集合	愛知医学専門学校卒業写真カ	大正年代	205 × 265		
139	集合	薬剤師中島等	大正年代	97 × 140	台紙付き	
140	集合	鶴天学友会東京支部会合	昭和 7 年 4 月 10 日	210 × 270	於・上野山下館、丸ノ内写真館製	奈良坂、鈴木孝之助他名前表示、台紙、表紙付き
044	集合	関東地区歓迎宴カ	昭和 7 年 4 月 12 日	95 × 140	於・熱海樋口旅館	裏に宇津見義四郎他全氏名
141	集合	温故会会合	昭和 7 年 5 月	215 × 285（台紙）	於・向陽館	表紙付き、裏に平岩信親等名簿添付
045	集合	□夫妻七五三記念カ	年代未詳	152 × 108		
046	集合	矢本親族 1 カ	年代未詳	107 × 152		
047	集合	矢本親族 2 カ	年代未詳	107 × 152		
048	集合	矢本親族 3 カ	年代未詳	107 × 152		
049	行楽	同僚との行楽写真	明治 30 年代カ	108 × 150		賀古、不明、不明、小川、高橋
050	行楽	塩原温泉七つ岩観光カ	明治 30 年代カ	97 × 135		
051	行楽	団体観光カ	明治 30 年代カ	106 × 150		
142	行楽	観光記念写真	大正 10 年 11 月	155 × 105	信州天竜峡ニテ、台紙 B5	「塩沢、奈良坂、加藤、木下、小坂、白金、熊谷」
052	行楽	矢本での親族との行楽 1	年代未詳	107 × 152		
053	行楽	矢本での親族との行楽 2	年代未詳	107 × 152		
054	医学関連	愛知医学校解剖局園内	明治 20 年代カ	100 × 150		
055	医学関連	愛知病院、愛知医学校正門	明治 20 年代カ	100 × 150		
056	医学関連	愛知病院、愛知医学校	明治 20 年代カ	100 × 150	対岸より	
057	医学関連	愛知病院内	明治 20 年代カ	100 × 150	守衛所、図書館	
058	医学関連	愛知医学校内	明治 20 年代カ	100 × 150		
059	医学関連	愛知医学校運動会・校友会発会式	明治 40 年秋	100 × 150	場所・竪三蔵町、旧校舎西隣広場	
060	医学関連	愛知医学校運動会	明治 40 年秋	100 × 150		
061	医学関連	愛知医学校運動会	明治 40 年秋	100 × 150	1 年生催物・堀川号	
062	医学関連	愛知医学校運動会	明治 40 年秋	100 × 150	1 年生催物・堀川号	
063	医学関連	奇形胎児写真	年代未詳	88 × 60、2 枚	下園町浅利写真館	裏に担当医の記録
064	医学関連	看護婦二人像	年代未詳	150 × 108		
065	医学関連	看護婦集合写真	年代未詳	108 × 150		

枝番号	分　類	内　　容	撮影年月	サイズ（mm）	表題、制作等	注記「　」は奈良坂記
066	医学関連	奇形胎児 4 体写真	年代未詳	100 × 140	裏に「謹呈奈良坂先生閣下、三尾」	
067	医学関連	標本写真・胎児脳薄切片	年代未詳	150 × 106		
068	医学関連	標本写真・脳	年代未詳	150 × 106		
069	医学関連	標本写真・脳	年代未詳	150 × 106		
070	医学関連	標本写真・膣内胎児	年代未詳	150 × 106		
071	医学関連	人体模型写真・膣	年代未詳	150 × 106		
072	医学関連	人体模型写真・肋骨、骨盤等	年代未詳	150 × 106		
073	医学関連	人体模型写真・内臓	年代未詳	150 × 106		
074	風景	平和記念東京博覧会入口付近カ	大正 11 年	108 × 150		
075	風景	イルミネーション 1、東京博覧会カ	大正 11 年カ	107 × 152		
076	風景	イルミネーション 2、東京博覧会カ	大正 11 年カ	107 × 152		
012	風景	宮城県原町天然記念木公孫樹	昭和 7 年 3 月 15 日	120 × 80	奈良坂撮影	
077	風景	水戸公園入口	年代未詳	110 × 150		
078	風景	水戸弘道館梅林	年代未詳	110 × 150		
079	風景	水戸公園ヨリ仙波湖ヲ望ム	年代未詳	110 × 150		
080	風景	水戸公園弘文亭崖下	年代未詳	110 × 150		
081	風景	水戸公園偕楽園ノ一部	年代未詳	110 × 150		
082	風景	武州本牧三景園ノ一部	年代未詳	110 × 150		
083	風景	佐竹城址ヨリ水戸城及ビ゛水戸市ノ一部ヲ見ル	年代未詳	110 × 150		
084	風景	美濃八百津発電所貯水池及水管	年代未詳	102 × 140		
085	風景	美濃八百津発電所	年代未詳	102 × 140		
086	風景	今池上空ニ於ル夏雲ノ奇峯	年代未詳	100 × 140		
087	風景	観光写真（那智山、文覚上人水行所）	年代未詳	165 × 110（台紙）	紀伊新宮町久保昌雄製	那智山不老軒のスタンプ
088	風景	観光写真（那智山、陰陽滝）	年代未詳	165 × 110（台紙）	紀伊新宮町久保昌雄製	那智山不老軒のスタンプ
089	風景	観光写真（田懸神社境内所見）	年代未詳	130 × 175（台紙）		
090	風景	観光写真（法隆寺金堂之景）	年代未詳	140 × 188（台紙）		
091	風景	矢本奈良坂家庭園 1 カ	年代未詳	107 × 152		
092	風景	矢本奈良坂家庭園 2 カ	年代未詳	107 × 152		
093	その他	「東京印刷局写真」の図像	明治 17 年 1 月	150 × 100	「明治 17 年 1 月呈医学士奈良阪源一郎君、医学士鈴木孝之助」の全面自筆	
094	その他	名古屋堀川ヨリ記念碑引揚ゲ゛	年代未詳	108 × 150		
095	その他	記念碑引揚げ櫓	年代未詳	108 × 150		

枝番号	分　類	内　　容	撮影年月	サイズ（mm）	表題、制作等	注記「　」は奈良坂記
096	その他	日露戦勝展示・23 冊加農 1	年代未詳	108 × 150		
097	その他	日露戦勝展示・23 冊加農 2	年代未詳	108 × 150		
098	その他	日露戦勝展示・23 冊加農 3	年代未詳	108 × 150		
099	その他	日露戦勝展示・15 冊加農	年代未詳	108 × 150		
100	その他	日露戦勝展示 1	年代未詳	108 × 150		
101	その他	日露戦勝展示 2	年代未詳	108 × 150		
102	その他	日露戦勝展示 3	年代未詳	108 × 150		
103	その他	日露戦勝展示 4	年代未詳	108 × 150		
104	その他	日露戦勝展示 5	年代未詳	108 × 150		
105	その他	日露戦勝展示 6	年代未詳	108 × 150		
106	その他	日露戦勝展示 7	年代未詳	108 × 150		
107	その他	日露戦勝展示 8	年代未詳	108 × 150		
108	その他	日露戦勝展示 9	年代未詳	108 × 150		
109	その他	軍艦甲板上	年代未詳	107 × 152		
110	その他	絵画写真（海難カ）	年代未詳	103 × 150		
111	その他	絵画写真（虎）	年代未詳	105 × 150		
112	その他	祭礼行列絵	年代未詳	108 × 165（台紙）		
113	その他	展示鉢植え朝顔（室内）	年代未詳	106 × 150		
114	その他	展示鉢植え朝顔（室内､台上）	年代未詳	106 × 150		
115	その他	牡丹	年代未詳	148 × 106		
116	その他	牡丹	年代未詳	106 × 150		
117	その他	雪をかぶる植木鉢・奈良坂邸カ	年代未詳	106 × 150		
118	その他	菖蒲園にて	年代未詳	108 × 148		
119	その他	農作業、矢本カ	年代未詳	107 × 152		
189	その他	アルバム帳		270 × 180、折帳	小口に「雑部」とあり	

〈08・短冊〉

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　記
001	父君歌	於のひきや者た年先尓死ぬる身哉　き能うけふめてな可らえんと八　秀直	述懐	奈良坂秀直	
002	父君歌	老て行身尓願事のな可里けり　子や孫乃身を於もひす古し天　秀直		奈良坂秀直	
003	父君歌	は可里奈幾三ちの奥なる加そい路尓　心徒具し能身そ阿王礼奈累　秀直		奈良坂秀直	
004	父君歌	まつしく毛清く月日越送里なは　およ者ぬ事八願王ぬそよ幾　秀直	述懐	奈良坂秀直	
005	父君歌	奈川深幾青葉能な可越王計い天し　古盈楚高間のやま本登と幾須　秀直	名所時鳥	奈良坂秀直	
006	父君歌	阿川佐弓春乃雲井も幾さら起尓　霞越王計天於ふ事も可な　秀直		奈良坂秀直	
007	父君歌	残里計る可多み八何登人と八丶　王可身そ父乃か多みと古たえよ　秀直	述懐	奈良坂秀直	
008	父君歌	残し於く言乃葉も奈記死出の旅　王連な幾後盤身そ満毛る篇し　秀直	述懐	奈良坂秀直	
009	父君歌	者可里奈起心うき夜乃雲者礼て　さやけき月越見る古楚毛加な　秀直	秋述懐	奈良坂秀直	
010	父君歌	慎み越里すれぬほと尓ま毛里奈波　於とろくほとの計可そな可り幾　秀直	述懐	奈良坂秀直	
011	父君歌	子屋孫の身能行末越於もひかね　ゆ免毛む春者ぬ夜毛有ける　秀直		奈良坂秀直	
012	自作歌	あす志連ぬおの可よ者飛をよそ尓し天　孫のおひさ幾いのる老乃身　秀武	述懐	源一郎	
013	自作歌	屋からみ奈年能者し免尓打よ里天　登そくみ可八寸今日能堂のしさ　秀武	新年述懐	源一郎	
014	献呈歌	敷嶋能道ふみ分天行とし乃　奈残越おし尤今日の友垣　為善	還暦会友	岩田為三郎	
015	献呈歌	能免よ酒う多へよ勲世能人等　た具ひまれなる个ふのい者ひに　寛	奈良坂先生の在官二十五年をい者ひ亭	太田　寛	
016	献呈歌	定め奈き花盤阿らしにさ楚者れ天　安多ら佐可里にちる可悲しさ　寛	奈良坂先生の令閨三ま可り多満ひ个るを可那し三て	太田　寛	
017	献呈歌	君盤世に年久しくも以そし三天　徒三しいさ越盤山も及者須　寛		太田　寛	
018	献呈歌	佐く梅も支者のあ多り尓ちり者てゝ　今朝盤か奈しくうくひ春の那く　守射	玉子君の三ま可り為へるをい多三て	酒井荘敬、号守射	
019	献呈歌	安ら可に千とせの秋も君そ経む　六十の春を者し免に盤して　せき子	奈良阪先生の還暦をこと本きまつりて	瀬木せき	
020	献呈歌	久方能ふる巣の中のほとゝ遣須　いそきもあへぬ春のやま佐登　秀登	名古屋尓かへります日叔母上のほとゝぎ須八との仰せに	奈良坂源	
021	献呈歌	佐久ら花古曾にお久れて咲きかてに　見揺る八君越まてはなりけ里　秀登	昭和弐年五月名古屋の叔父上七十四の御高齢、ひさゝゝの御帰省にはから春も花の遅れたりけれは	奈良坂源	
022	献呈歌	世尓登保久年ふるさ登能花のうへに　かゝやく个ふ能きみのいてま志　秀登	光栄	奈良坂源	

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　　記
023	献呈歌	はから寸も阿るるそら弐おち君八　陸尓おは春かはた浪のうへか　秀登	叔父君達海島金華山尓御詣ての日空のい多くも阿れ个礼ば	秀登	
024	献呈歌	まれ人もいまい来ましぬ今八とて　雨もふるら無かせも吹くらむ　秀登	叔父君達来駕の明けの日となりて花尓あらしのあれければ	秀登	
025	献呈歌	君のもつメス能ひ可里は還暦の　賀に咲く筆登以とかゝや可に　禾香	祝	福沢稔	
026	献呈歌	大正能三とせ筆咲く秋ひとひ　六十一歳越千代めて登ほく　禾香	寄筆祝	福沢稔	
027	献呈歌	世にすくれ以みしきメスよ六十一　加佐ねてい与ゝゝひ可るたふとさ　禾香	メスに寄せて還暦を祝ひまつる	福沢稔	
028	献呈歌	むそひとつはるとあきとの花紅葉　それにもま佐る君のさかえよ　禾香	還暦祝	福沢稔	
029	献呈歌	喜ひのよ八ひかさ年しきみなれ者　ちよの栄え八こ多かひもなし　鈴子八十二妃		宮崎春〻子	裏に「同姓銘治ノ母」
030	献呈歌	酒も与しみさ可なも与きもてなしに　古ゝろも身をも夜ひ志ひ連けり　寿	恩師の不可きもてなし二あひて	山本寿	
031	献呈歌	もゝと勢八うた可ひもなし八十七可き　君とことは尓於も可はりせす　寿	七十九才の先生尓拝顔して	山本寿	裏に「昭和７年６月５日偽詠」
032	献呈歌	七十路尓あ万留所能師の君越　いはひ奉寸れ我ら三人八　寿		山本寿	
033	献呈歌	峠まて未多奈可ゝゝの奈良坂や　六十一盤保んの口茂登　風山	恩師奈良坂先生の還暦越賀し奉りて		
034	四季歌	う徒し植し花なれも奈保優さし支八　こ保連したね乃垣の朝貌　将載	朝貌	石川将載	
035	四季歌	さ起ぬ連はさて者あら弥と中ゝに　こゝそ徒くし能朝貌の花　将載	壷木花	石川将載	
036	四季歌	立以てゝ可盈里三春れ盤わ可宿能　百ゝ能梢も宇ち可春みつゝ　長年	桃	伊藤長年	
037	四季歌	与へ婦利し阿られ志らゝゝのこ里希り　阿さき多佐むき竹のし多三ち　弓月		掛布弓月	
038	四季歌	由倶春を行久尓万可せて玉野川　幾しの落葉尓歌ふうくひ寸　慶次	初夏の頃玉の川尓て	蟹江慶次郎	
039	四季歌	咲梅能園能佐可里八年ことに　登ひこむ君を家母ま川哉　菖子		川合菖子	
040	四季歌	於ほろ夜の花於もしろし於ほろよの　月於もしろき小山田の里　七十七翁良雄	山家春月	河合良雄	裏に「八事山秀桑園主」
041	四季歌	乃登个さに木の間を須きる山鳥の　尾上の松に可須みたな飛く　七十七翁良雄	春鳥	河合良雄	
042	四季歌	此阿多りねくら奈るらむ我宿の　う免の林に鴛の夢　良雄		川合良雄	
043	四季歌	雨風にう免八おふ可多ちり多れと　ま多すて可多き花そ能二意る　七十三翁良雄		川合良雄	裏に「河合良雄八事秀葉庵主」
044	四季歌	春ゝしさ尓ゆきゝ乃人茂志者らくは　あゆみとゝむ留波し乃うえ可奈　英吉		佐々木栄吉	
045	四季歌	朝ほら希多ゝうくひ寿乃一声耳　者留の春ゝろ乃宇き多知尓个利　八拾三翁栄吉		佐々木栄吉	裏に「名護屋之人」
046	四季歌	青柳の糸ふく小野の者る風耳　す可りか年てもなく蛙可那　季厚		佐藤季厚	裏に「小野道風」

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　　記
047	四季歌	む可つをの松耳まし里て色浅く　三ゆる盤 な尓のもみちなるらむ　せき子	紅葉浅く	瀬木せき	
048	四季歌	我そのゝ梅の佐可里の登起乃三か　徒祢尓 母志个久とひきませ君　菖子		瀬木菖子	裏に「良雄夫人」
049	四季歌	都大路なみ木のやなきはらゝゝと　ちりて 佐ひしく時雨ふるなり　平一		恒川平一	裏に「奥田大和先生の相続人」
050	四季歌	たてる茶盤なしなに物と於もへとも　桜の 匂ひをく三てさゝけむ　都鳥		都鳥翁	裏に「都鳥翁」
051	四季歌	宵の間尓見果ぬ月の叢尓　ふときく虫の初 声をきく　白山		村上竜之介	
052	四季歌	末てどゝゝ君八来まさて佐夜ふけて　志 つけき座尓虫の初声　白山		村上竜之介	
053	四季歌	古ゝろ奈く清き山の端奈可むれ者　風毛 すゝしく虫の初声　白山		村上竜之介	
054	四季歌	濱やかた見渡春浪八志つか尓て　秋立今朝 のかぜの春ゝしき　白山		村上竜之介	
055	四季歌	つくろ者ぬ田中の伏屋梅さ个利　花川くわ 多に佐可せ衣ぬま尓　三ち子	田家早梅	若原三ち子	裏に「若原先生長女」
056	四季歌	時雨ふるゆふへのそらのさひしさも　三や こおほち尓八志ら連さり个里　重明			裏に「都時雨」
057	四季歌	氷累可登思ひし影茂水鳥の　うこ希盤動く 冬の夜農月　七十五翁重賢	冬月		
058	四季歌	悲とむらの庭の奈よ竹吹風も　うれし支夏 と成尓遣る哉　□□	竹事夏来		
059	四季歌	知る花を婦三て佐久々々あ累き个利　きの ふさか里登めてし古す盈を　良吉	踏落花		
060	四季歌	春み王多留み空を見禮八月さえて　風茂春 多しく秋や立らむ　善城			
061	山水他	老木登も見衣転若葉を志計里个る　志ら須 幾世可婦る能神杉　寛	社頭新樹	太田　寛	
062	山水他	幾衣能こる三阿可しさえて以つくし万　朝 三徒汐耳千とりなく奈利　弓月	朝千鳥	掛布弓月	裏に「短冊商むらさきや」
063	山水他	雲らぬ乎三空のつきに弥可者寸婆　よ尓う 起久もはあらし徒所於もふ　慶次	月の頃述懐	蟹江慶次郎	裏に「尾張知多人」
064	山水他	ふらふら利と遊ふと可ても瓢多んの　むね 乃あ多り耳しめくくり阿り　栗山		栗田嘉平太	
065	山水他	鳴可計尓よるをのこして王多のはら　奈三 のほしろく志らみそめ个利　正春	暁	桜井正春大人	
066	山水他	遊ふさ連盤妹可奈さ个能麦酒耳　あ王とき え个利飛流のつ可礼も　謄	夕独酌	佐埜藤太郎	
067	山水他	空高くまふあし多つの羽裏よ利　尓本ひひ いて多る初日影可那　謄	朝暾紅	佐野藤太郎	
068	山水他	鶯能啼音もまたて梅の花　あ八礼嵐に佐そ 王るゝと盤　重視		志水重視	裏に「信州松本ノ人」
069	山水他	としを経て三と利王可やくおい松の　千と せを君尓さゝけ天し可な　せき子		瀬木せき子	
070	山水他	をし可なく野春盈者る可尓日盤落て　夕き 利婦可し三やまへの里　せき子	霧中鹿	瀬木せき子	

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　　記
071	山水他	初非佐須身裳裾川水清く　塵なき空登倶二澄三希尤　　独翁天小	河水清	田宮圭虫	
072	山水他	をりゝゝに雪免くまも古保連来て　う古可ぬ月能そらに佐え多る　　一	寒夜月	恒川平一	
073	山水他	清きくにふるき耳うつる物可當り　神代耳入りて夜はあ个にけ里　　平一	談古	恒川平一	
074	山水他	谷水濃音尓もいつ可耳馴連ぬ　か里そ免ふ支能以本尓年経て　　陶英		村手陶英	裏に「名古屋の人通称弥兵衛」
075	山水他	寺能名乃妙耳楽し記春日加な　者那の佐可利越思ふとち見天　　宣長		本居宣長	色紙類の中に混入
076	山水他	我のみとおもひしものを朝佐く留　とくみてきへる人も阿り多り　　寿	朝花	山本寿	
077	山水他	篇つ良以て多能しきより八篇つ良わ天　賀しき身古楚心安けれ　　道悟居士		山本義房	
078	山水他	あめつ知乃阿らん限り八見あ可ぬ留　月雪花尓かくらいひの山　　敷典	名所		
079	山水他	満汐農ひるとも見遊累道の夜盤　濱能真砂能数そ者ま流々　　桜雲	海辺月明		
080	山水他	登るさをの心奈可くもこ紀よせむ　あしま能乎ふ年佐者利阿りと毛	芦間舟をよ処を多まへる於本三□		
081	山水他	そゝり多つふしの加三山日乃毛登の　うこ可ぬみ与能す可多なるら無　　浪子	山		
082	山水他	手弱め可ねふる姿耳し尓多る可那　ゆりおこしても花の色三舞　　□□絵も			
083	皇室	阿めをうら三ひとをと可むることもありし王可あやまちを於もひ可へ佐盤	折尓不礼天	明治天皇御製	裏に阪正臣拝書、刷り物
084	皇室	うつは尓者した可ひな可ら以者本弐も　登保春は三つ能知可らな里个利	水	明治天皇御製	阪正臣拝書、「明治天皇照憲皇太后御製及御歌拝刷」の袋入り
085	皇室	こ登那しと遊る希こゝろ者な可ゝゝに　阿多あるよりもあやふ可利遣利	心	明治天皇御製	同上
086	皇室	和連登王可故ゝろ越里ゝゝかへり美与　しらすゝゝゝも満与布こと阿梨	をりにふ連て	明治天皇御製	同上
087	皇室	於やもこも志多し三か盤し以へのうち　尓きはへるこそたのしか里个礼	家	明治天皇御製	同上
088	皇室	飛ら希遊久みちに以久ゝ毛こゝ路世支　徒万都久ことの阿るよなり个里	折尓不礼天	明治天皇御製	同上
089	皇室	多らちねのみ於や乃をしへ安ら多ま能　としふるまゝに美尓そし三个類	親	明治天皇御製	同上
090	皇室	をさなこのもの可く阿とをみてもしれ　那らへ盤奈らふしるし阿るよを	手習	明治天皇御製	同上
091	皇室	おの可三をゝ佐無るみちは末な者奈む　しつ可なりはひ以とまなく登毛	民	明治天皇御製	同上
092	皇室	与能な可尓あやふき古と者な可るへし多ゝしきみち越不三た可篇春波	道	明治天皇御製	同上
093	皇室	ならひ遊くひと尓者よしや於くるらん多ゝしきみち越不三那多可へそ	道	明治天皇御製	同上
094	皇室	春可能年のな可きはるひ盤那かゝゝに　もの尓おこ多るひとそ於本可留	春日	明治天皇御製	同上

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　　記
095	皇室	遊きに堂へ阿らしに多へし能知尓古楚　まつ能くらゐもた可くこ衣計連	松	明治天皇御製	同上
096	皇室	もつひとのこころによ利てたからとも　阿多ともなる八こ可年奈利个り	金	昭憲皇太后御歌	裏に阪正臣拝書、刷り物
097	皇室	こ可ひ春ると起としられてともしひの　か希もねふらぬをやま多のさと	田家夜	昭憲皇太后御歌	裏に阪正臣拝書、刷り物
098	皇室	きみと於三の春知阿支ら个きひのもとのくに盤うこ可しよ路つよまて耳	寄国祝	昭憲皇太后御歌	阪正臣拝書、「明治天皇照憲皇太后御製及御歌拝刷」の袋入り
099	皇室	むらきものこゝろにとひてはちさらは　よのひとことはい可尓阿りとも	正心	昭憲皇太后御歌	同上
100	皇室	み可支もるひとをそおもふ可せ佐ゆる　しもよ能つきにうめの者那三天	寒月照梅花	昭憲皇太后御歌	同上
101	皇室	ひとりの三おもふこゝろ乃よし阿らし母てらしわたらむ阿めつち能可み	慎獨	昭憲皇太后御歌	同上
102	皇室	きみをおもふまことの三ち能ひと春ちは可ねても志るしはなつひとや耳	菅原道真	昭憲皇太后御歌	同上
103	皇室	登るふ天能あとはつ可し登おもふ可那こゝろのう徒るものと支りて波	筆写人心	昭憲皇太后御歌	同上
104	皇室	さ可みち越ひと尓ひ可せてこゝろなく　久留末能うちに手満り个留可那	人力車	昭憲皇太后御歌	同上
105	皇室	於本やし満三いつ久し三のひろ支よ者　奈みのち佐とも登那り奈利个里	四海清	昭憲皇太后御歌	同上
106	皇室	於本やし満三いつ久し三のひろ支よ者　奈みのち佐とも登那り奈利个里	四海清	昭憲皇太后御歌	同上
107	皇室	於こ多らてと起をうつはの以さ免寸は　あくるもしらしはるのたまくら	枕辺時計	昭憲皇太后御歌	同上
108	皇室	末寸らを可ゆつる尓可个天はなつや能　免耳もと万らすゆくつ支ひ可那	光陰如矢	昭憲皇太后御歌	同上
109	皇室	ひのもと能うちにあ万りて以徒くしみ　登つく尓まても於よふ三よ可那	赤十字社へ下賜の御歌	昭憲皇太后御歌	同上
110	皇室	立山乃空尓聳由留雄〻志左耳　奈羅篇登楚思布御代能寸加太毛		東宮御歌	阪正臣拝書、「明治天皇照憲皇太后御製及御歌拝刷」の袋入り
111	皇室	はつ日の出を久可み越へてかへり三る　空耳徒丶个利不尽の多可禰盤		東宮妃御歌	刷り物
112	皇室	波風のしつ可那流日毛不奈ひと波　可世尓こゝろをゆるさゝ羅奈む　東波謹書	御製		刷り物
113	皇室	神代より於なし根さし能白菊の　佐可り久し起君可御代可那　静輝	勅題菊盛	藤原静輝	
114	皇室	今宮尓多ひらましたる世の音尓　みゝ可多ふ久る与も支ふの庭　寿	聞虫	山本寿	裏に昭和６年 11 月３日明治神宮献詠題選
115	時勢	波阿らき川可さのう三に堂ゝよへ流　いろく川以可にし川こゝろなき　東波	大官興己	東波	刷り物
116	時勢	宇川しう衣てやまとなてし子茂ら世む　す佐むひろ野を加里ひらき川ゝ　東波	満蒙移民	東波	刷り物
117	時勢	裳ろこし能者らにし个連るしこくさの　ねの堂衣む日を満知わ多流可奈　東波	匪賊討伐	東波	刷り物

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　　記
118	時勢	風のむきふ支可波るらし事者可流　日比谷 能者ら仁萌王くうき雲　東波	新議会	東波	刷り物
119	時勢	婦き阿るゝ世の波風をつ可さひと　い可尓 奈古めて事可知とるら舞　東波	新内閣	東波	刷り物
120	時勢	うち可は春つつおとや三て鶏農　歌尓あ希 ゆく裳ろこし可はら　東波	暁鶏声	東波	刷り物
121	俳句	寒月やかけ越護り天帰り个り　十郎	宴会の帰りに	北十郎	裏に「在大坂北十郎」
122	俳句	伸美らぬうち可花な利初薇　二不猷			
123	俳句	風耳騒き雨尓しつまる落葉哉　郁波			
124	漢詩	玉壷僊薬亦君臣・・・・・　重熙	病院新年	一色重熙	裏に「尾張ノ儒者」
125	漢詩	人間栄辱委蒼昊・・・・・　重熙		一色重熙	
126	漢詩	在官三十載碩学・・・・・　百畝寛	賀奈良坂先生在官三十年	太田寛	
127	漢詩	氷心玉骨影横斜・・・・　礫浦老漁	奉寿奈良坂先生還暦	小田俊作	
128	漢詩	海潮深残小蓬莱・・・・　礫浦老漁	奈良坂先生□正	小田俊作	
129	漢詩	斯界泰山椎氏翁・・・・・　辱知 高塚二男三郎拝草	祝奈良坂松洲先生之還暦	高塚三郎	
130	漢詩	敲門嘉客鳳鸞儔・・・・・　半澤老人	庚戌７月十三日奈良坂国手及櫛田君・・・		
131	漢詩	雄風一鼓大鵬翼・・・・・七十二雲雀天順	梦後	天野君順	裏に「名護屋藩」
132	漢詩	運甓刺吏田折翼・・・・・七十二雲雀天埜 順	□歳	天野君順	
133	漢詩	十里長堤十里流・・・・・　成秋逸人	楊柳	岩田為三郎	
134	漢詩	鬼奴一隊不知各・・・・・　成秋逸人	百鬼夜行	岩田為三郎	
135	漢詩	重場過後老秋光・・・・・　九寿		石川九寿得哉	
136	漢詩	人生何事手中無・・・・・　竹西		大内雄造	裏に「仙台ノ人」
137	漢詩	身在紅楼暗懐神・・・・・　百畝	題大石良雄遊宴図	太田寛	
138	漢詩	枯木添佳色幽〃・・・・・・　百畝寛	雪	太田寛	
139	漢詩	夜涼虚閣統餘醒・・・・・　礫浦老人	水客夜咄録・・	小田俊作	裏に「礫浦老漁、内海町之医」
140	漢詩	霜歴暁窓眠易残・・・・・　礫浦老漁	歳晩小占	小田俊作	裏に「礫浦老漁、内海町之医」
141	漢詩	兀坐梅花秀動遍・・・・・　浮沈生	歳暮感懐	倉尾友三郎	
142	漢詩	梅影横斜蘸硯池・・・・・　精斎	年辰新歳	佐藤精斎	
143	漢詩	青帘招客影婆沙・・・・・　□□□□紫楯		柴山伴男	裏に「犬山藩」
144	漢詩	此涙誰知弔藩情・・・・・　半百老人		大録扇渓	裏に「俗称盈三」
145	漢詩	神路山頭瑞気生・・・・・・　天小	丙寅秋題河水清	田宮圭虫	
146	漢詩	為国為君那小金・・・・・　□稀翁天小		田宮圭虫	裏に「伊勢河芸郡箕田村光照寺住」
147	漢詩	允文兼允武萬世・・・・　藤原静輝	橿原覧古	藤原静輝	
148	漢詩	柳塘緑不富芊蕪・・・・・　蔭涼		龍桑巓	裏に「大光院 32 世」
149	漢詩	月也描華影華乎・・・・・・　君川□			
150	漢詩	玉質在衣裏・・・・・・　沙門龍跳	為玉質霊光童女法語		
151	漢詩	桃開鶴笑三千歳・・・・・・　馮雪郷	光著十九年葵巳夏日		

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　　記
152	漢詩	星河澹欲無儔□・・・・・　幽居秋夜醒重哲夫			
153	漢詩	銀鏡冷然懸霜風・・・・・　臣清拝具			
154	漢詩	秋草獨重君・・・・・　蝸廬			
155	漢詩	未問那意理・・・・・・　□□	題妙楽寺壁		
156	漢詩	数畝荒園夏木深・・・・・　庫山需士			
157	漢詩	屋前花似錦・・・・・　丘斎生			
158	漢詩	一国蝴蝶掠燈火・・・・・　碧海漁人佐藤勤也	戯贈	佐藤勤也	
159	水墨	［樹花］　松洲		奈良坂源一郎	
160	水墨	［風光］　春江帰帆　堀田	奉祝奈良坂先生還暦	堀田幾三郎	
161	水墨	［松］　堀田散人	奉祝奈良坂先生還暦　丁卯晩夏	堀田幾三郎	
162	水墨	「四時の梅」　松洞僊居石斎	裏に「松崩堂義兄之應需写、兄といふ名尓恵まれ天　四時の梅」		
163	水墨	［山水］　天僊		天野天僊	
164	水墨	［山水］　一脈飛泉清旦甘　東都山人		太田季次	
165	水墨	［山水］　田家早梅　清隠		加藤清隠	裏に「名ハ欽治、千種ノ人」
166	水墨	［山水］　清隠		加藤清隠	
167	水墨	［花鳥］　僊細		仙洞	
168	水墨	［花］　秋峯		竹村秋峯	裏に「文展入選者」
169	水墨	［山水］　月桂写		原月桂	裏に「名古屋ノ人」
170	水墨	［竹］　芝堂仙受		三尾太傳治	
171	水墨	［山水］　峯巒明秀　紫水神谷彦	壬牛夏写霞外山□□		
172	水墨	［竹］　虚心平安　逸舟			
173	水墨	［風光］　雷雨解嶧　翠雲錞			
174	水墨	［竹］　秋風憂玉　翠雲写			
175	水墨	［梅］　人嫌古蕭疎・・・　清風居松里写			
176	水墨	［鳥］　秋逸太郎写			裏に「二月」
177	水墨	［鯉］　三峰			裏に「十六」
178	水墨	［花］　麥洲			裏に「村瀬」
179	水墨	［風光］　松□宇			
180	水墨	［富士］　□□			
181	水墨	［滝］　□□			
182	水墨	［落葉］　翠畝			
183	水墨	［雀］　□鳳写			
184	水墨	［風光］　玉春			
185	水墨	［糸瓜］　月昇			
186	水墨	［日の出］　乾山			
187	水墨	［花蜘］　霎空			
188	水墨	［花蜻蛉］　春草			

枝番号	内容	詩　歌	頭書等	作　者	注　　記
189	水墨	［雀］　秋荘写			
190	水墨	［花蜂］　（落款）			落款（印）未解読
191	水墨	［朝顔］　（落款）			同　　上
192	水墨	［花蝶］　（落款）			〃
193	水墨	［栗］　（落款）			〃
194	水墨	［鹿］　（落款）			〃
195	水墨	［藤］　（落款）			〃
196	水墨	［竹虫］　（落款）			〃
197	水墨	［花蝶］　（落款）			〃
198	水墨	［朝顔］　（落款）			〃
199	水墨	［椿］　松濤			
200	水墨	［鶴］			
201	市販品	竹内栖鳳筆の絵			
202	市販品	川合玉堂筆の絵			
203	市販品	鏑木清方筆の絵			
204	市販品	島成園筆の絵			
205	市販品	木谷千種筆の絵			
206	市販品	北野恒富筆の絵			
207	市販品	小林古径筆の絵			
208	市販品	伊東深水筆の絵			